

【講義と演習⑥】 個を支える地域づくり（前半）

プロセスレコードシート

本人のニーズ・状況	主任相談支援員の働きかけ	地域・近隣住民	専門機関
夫婦「退院後の夫の状態が不安」「借金もあり、生活費が心配」→リハビリの様子確認 ←	病院にて、MSW の仲介の中で、ケアマネと一緒に聞き取りをし、退院後の公的サービス利用調整をケアマネが行い、金銭面での調整を主任が行うこととなった。		包括調整し妻が以前お世話になっていた居宅が夫のケアマネを担当。
(3日後) 自宅ですと面談。「生活費が心配」、「親類と疎遠で回りに頼る人がいない」 ←	ケアマネと同行し、住環境の確認のため、自宅を訪問。借金(サラ金)や税の滞納の確認。 借金の整理について、弁護士に相談し、借り換え可能な金融機関へも相談。(入院費について、分納依頼) 姉妹に連絡し、妹が母のライフラインの通帳を管理。		ケアマネ…夫の状態から風呂の見守りのための訪問介護を調整 弁護士…法的措置の可否確認 金融機関…本人宅訪問 病院…夫リハビリ、分納手続き
(半月後、退院) ← 夫婦「電気の交換などちょっとしたことが心配」 →ケアネット活動開始 ←	その他買い物や電球の交換などが心配とのことで、担当の民生委員につなぎ、見守りを依頼。	民生委員、近隣住民 2 名で定期的な見守りのためのケアネット活動チームを編成 →	ケアマネ…民生委員と顔合わせ
夫婦「家計管理に不安がある」→日常生活自立支援事業に興味有 ←	借金について、借り換えは、難しいことを報告後、日常生活自立支援事業を進めると共に、家計管理を透明化するという条件から、家計支援を導入。	→	社協日活担当者…事業説明 家計支援員…レポート・記録の整理。(グラフ化)
(1か月後) 夫婦「夫の状態もよくなり、訪問介護を終了したい」 ←	定期訪問時、サービス利用継続の説得を試みるが夫婦の気持ちは動かなかった。	←	ケアマネ…継続利用の説得失敗。 包括が定期的に訪問することに
(半月後) 「買い物や通院が心配」 ↔ →外出支援サービス利用開始	地区内に外出支援サービスがあることを夫婦に伝え、利用できるように調整。	民生委員が申し込み用紙を自宅へ届けて、利用説明。 →	市社協地域担当…意図的に介護技術習得研修を実施し、妻利用、初回時に同行し、対応方法について確認。
妻「普段から触れ合える機会がほしい」 ↔ →サロン利用開始	家計支援訪問時に、買い物支援利用の様子をききつつ、地域住民とふれあう機会について確認し、民生委員へサロンへの参加を進めてほしいと伝える。	民生委員…地区内で実施しているサロンへの誘いを妻へ打診。 →	

【講義と演習⑥】個を支える地域づくり（前半）

<p>(ケアネット定期訪問時) 妻「市役所からの郵便物の内 容がわからない」</p>	<p>民生委員から問い合わせがあり、訪問した際「避難行動要 支援者台帳への登録案内」であることがわかり、説明し、そ の場で記入してもらい、市担当課へ提出。</p>	<p>ケアネット協力員（近隣住民）…訪 問時訴えがあったので、民生 委員へ確認</p>	
<p>(ケアネット定期訪問時) 夫婦「冷蔵庫が壊れた」</p>	<p>緊急時物資等支援の「遊休品バンク」に在庫があることを確 認し、搬入。</p>	<p>ケアネット協力員及び民生委員… 訪問時相談されたことを報告</p>	<p>遊休品バンク（市社協 VC）担当 …バンク内物品の情報提供</p>
<p>(現在) 夫婦「借金を減らすための借 り換えを実現」「預金がした い」</p>	<p>夫の身体的状態も安定し、夫婦も地域からの孤立も少しづ つ解消。 家計の収支についても家計支援を継続し、計画的な支出を 実践し、借り換えが実現。</p>		<p>家計支援員が借り換え等の手 続サポートを実施。預金でき るよう、家計支出計画を作成 し、毎月確認。</p>